

施設を適切に保守点検し、計画的に更新することにより、水道システムの維持・保全を効率的に行います。

また、高台地区に水を供給するための高区配水施設（ポンプ場や高区配水池）については、安全性や機能性のさらなる向上を図るため、省エネルギー化に留意しつつ、送水機能の改善を進めます。

さらに、配水管の破損などの事故が発生した際に、被害区域を限定し迅速な復旧を可能とするほか、水圧の均等化や漏水事故の抑制などにも有効なブロック配水システムの整備を行ってきましたが、ブロック内の水量や水圧の安定性をより高めるため、配水管の整備を行い、ブロックの再編を進めていきます。



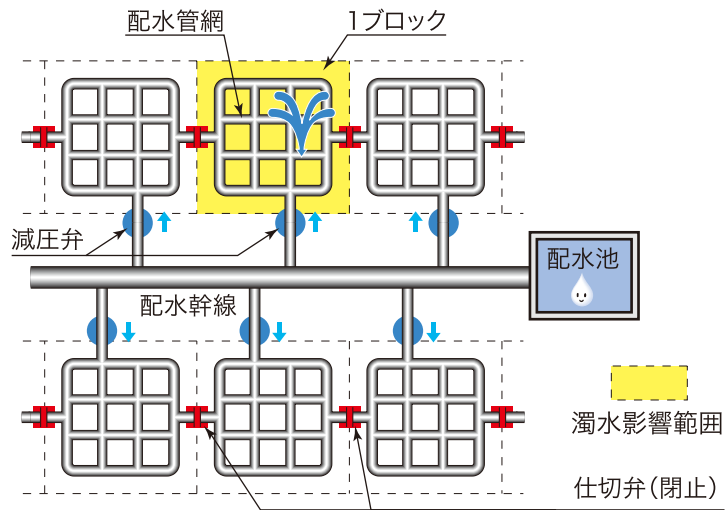
- ・適切な維持管理により、水道水を安定的にお届けできます
- ・水道水を運ぶために必要なエネルギー使用量を削減できます

取組	①施設や設備の維持・保全									
	● 延命化を図りながら劣化の状況に応じて、故障が発生する前に適切に更新します。									
	②高区配水施設の安全性・機能性の向上									
	● 令和4(2022)年度までに伏見地区、円山西町地区のポンプ送水機能の改善などを行います。 ● 簾舞地区のポンプ送水機能の検討や改善などを進めます。									
指 標	③配水管の維持管理									
	● 配水管の健全性を維持し、漏水事故の発生を防ぐため、定期的な保守・点検や漏水調査 ³⁷ を行います。									
	④配水管の整備									
	● ブロック内の水量や水圧の安定性をより高めるため、配水管の整備を行い、ブロックの再編を進めていきます。									
指 標	指 標 名		H25 (2013) 年度末 実績			H30 (2018) 年度末 実績			R6 (2024) 年度末 目標	
	浄水場事故割合 ³⁸		0件			0件			0件	
年次計画	実 績					計 画				
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	②高区配水施設の再編									
	藤野地区									
	伏見地区									
円山西町地区										
簾舞地区										
ビジョン後半5年間の予定事業費(2020~2024年度)					298 億円					

³⁷ 【漏水調査】 道路に設置されているバルブや消火栓、宅地内の水道メーター等で音を聞き、漏水箇所を見つける調査で、漏水による道路陥没事故等を未然に防ぐために行っている。

³⁸ 【浄水場事故割合】 水道事業ガイドラインに基づく業務指標で、過去10年間に必要とされる水量の一部でも送水できなかった件数を示す。

【図表30】給水区域のブロック化イメージ図



給水管からの漏水



漏水探知器による調査



水道メーターの音聴調査